

会議結果報告書

1. 会議名 平成30年度 第6回 印西市環境推進市民会議
2. 日時 平成30年10月19日(金) 9:30~11:40
3. 場所 印西市役所25会議室
4. 出席委員: 岩井委員、上田委員、小山委員、白川委員、根本委員、橋本委員、平林委員、福井委員、松崎委員

事務局: 海老原(環境保全課)

5. 傍聴者 0名
6. 配布資料
 - ・会議次第、会議席次表
 - ・環境推進市民会議での検討事項(グループ討議 発表内容)

7. 内容

(1) 開会

(2) 会長・副会長の再選について

会長について、一身上の都合により会長職および委員辞任の申し出があり、同意した。

辞任にともない、新たに会長職および副会長職を選出したい。また、岡委員についても一身上の都合により委員辞任の申し出があり、同意したことを報告。

新しい会長に岩井委員、副会長には白川委員を選出。

(3) 議事

①中央駅前交流館まつりについて

市 出席者の確認をしたい。

出席1日 福井委員、松崎委員

AM 平林委員、橋本委員

PM 根本委員

未定 上田委員、白川委員

別ブース 岩井委員、小山委員

委員 常時、説明員を3人は配置しておきたい。

会長 啓発物資は1家族につき1袋配布とする。

委員 前回の会議で防災と環境について啓発するという内容を受け、資料を作成してきた。(資料に沿って説明)

印西市の地形やハザードマップの掲示。

記録的短時間大雨情報について、印西市は1時間に100mm以上の雨が降った場合としている。

外来生物を気にしない人が多い。

来場者に知っている外来生物を伺いたい。また、3Rについて、どう考えているのか伺いたい。

防災の事項については、もう少し環境の話題を絡めて説明した方が良い。

ブラックアウトの備えにもなるエコ生活について提案する。例えば、太陽光パネルや蓄電池、電気自動車など。

市が電気自動車の所有者や太陽光発電設置者などを記載したマップを作成し、災害時に共有できるような準備をするべき。

九州で太陽光発電による電力の供給が抑制されたことが話題になっていた。

ブラックアウトの問題について、交流館まつりで取り上げるのは遅い。

震災時に北海道のコンビニで自動車のバッテリーを接続し営業を続けたことが話題になっていた。

電気自動車やプラグインハイブリット車は増えていると思う。

市は電気自動車から受給電できるシステムの普及に努めるべき。

市 平成28年度まで受給電システムの導入時に補助金を出していたが、補助件数が伸びなかったため、現在は補助金を出していない。

委員 マンションは停電時に水を揚げられない。

お風呂の水を貯めておき活用するべき。

都市公園にソーラーパネルの設置や井戸を掘るなどして、災害時に備えるべき。

印西市は地下水が豊富。30mも掘れば水がでる。災害時のために地下水をもっと有効に活用できるようにするべき。

災害時には備蓄倉庫にある物資だけでは足りない。

私は防災コーディネーターの認定を受けている。認定を受けているものは市内に14人しかいない。市はその存在を把握し、活用するべき。

外来植物の繁茂が富栄養化を引き起こし、水質を悪化させている場所もある。災害時の水利用にも関係する問題である。

田んぼは治水としての役割もあるので、耕作放棄地問題も防災に繋がる。

会長 スタンプラリーは話を聞いてもらわなければやる意味がない。

委員 外来種の拡大は止められない。ある程度のところでバランスを保つことが重要になる。

外来種が初めに広がる原因はすべて人為的によるもの。

イベントでは子供に知識を伝えたい。今、一番伝えたいことは「ペットは最後まで飼う」ということ。

メダカ等の放流により、在来種と交配し、新種が生まれることを危惧している。

ミステリークレイフィッシュというザリガニはメスだけで繁殖でき、放流されれば爆発的に増えるので懸念している。

会長 子供向けの啓発ポスター等の作成を小山委員にお願いしたい。

委員 北海道では地震は起きないと言われていたが、起きた。震源が深く断層が見つかっていなかった。印西市も地震に強いと言われているが、どこでも地震の震源地となる可能性はある。

会長 3Rはクリーン推進課で啓発しているので、市民会議では啓発しないこととする。

委員 ブラックアウトは「長期的な停電（ブラックアウト）」と記載した方が解りやすい。

長期的な停電で主婦が一番困ることは、冷蔵庫が使えなくなること。食べ物が腐ってしま

う。

今の社会はコンビニに頼り過ぎている。災害時に対応できるキャパシティーはコンビニにはない。最近では市役所の窓口業務の一部もコンビニに頼っており、自分が住む地域ではその関係から出張所が閉鎖になる可能性がある。

スーパーでのマイバックは普及しているが、コンビニの袋は問題だと思う。

50mm以上の雨は雨水排水の設計上、処理できない可能性がある。

緊急地震速報は軽視しない方がよい。

交流館まつりの会場は狭いので、掲示物は簡潔にまとめた方がよい。

長い文の掲示は見てもらえない。

専門的な内容の掲示は説明できないので、再度、内容を検討した方がよい。

会長 提案のあった資料について松崎委員に修正をお願いしたい。

※ 議題②の「市民会議での検討事項について」はグループワークを実施し終了。

③その他

市 手賀沼流域協働調査（冬季）を12月10日（月）、12月11日（火）【予備日】で実施を予定している。参加者を募りたい。

12月10日（月） 白川委員、平林委員、福井委員 3名

12月11日（火） 岩井委員、白川委員 2名

平成30年度 第6回 印西市環境推進市民会議の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

平成30年11月16日

委員 福井 章夫

委員 平林 光子